

パブリック・コメントで提出された意見と市の考え方

1. パブリック・コメントの概要

- (1) 案件名：鳥栖市学校給食基本理念・基本計画（第2稿）について
- (2) 意見募集期間：平成24年1月4日（水）～1月31日（火）
- (3) 意見提出数：18件（3名）

2. 提出された意見とそれに対する市の考え方

「鳥栖市学校給食基本理念・基本計画（第2稿）」に対するパブリック・コメントで提出されたご意見とそれに対する市の考え方を以下のとおり整理しました。

	提出されたご意見 ※意見は原文のまま掲載	市の考え方
1	<p>評価委員会の出された結論は、全ての改修に係る時間及びコストを自校方式の選択肢は妥当とは思えない。</p> <p>上記「自校方式の限界」の理由から、鳥栖市の子どもたちにとって最適な選択肢は、給食センター化である。（鳥栖市学校給食基本計画(第二稿)抄)と結論が出ています。</p> <p>鳥栖市学校給食基本理念・鳥栖市学校給食基本計(第二稿)からは、何の目的で給食センター建を計画されたのか、最後まで分かりませんでした。</p>	<p>現在の学校給食調理施設は学校給食衛生管理基準の制定以前に建設したものであり、本来スペースを分けて行うべき汚染作業・非汚染作業が十分に区分されておらず、温度湿度の調整ができていない状況です。現在のところ、P25に記載しているように、学校長、栄養教諭、学校栄養職員、学校保健員等の創意工夫と努力による運用面で安全管理を徹底し、幸いにも食中毒事故を起こすことなく運営できております。</p> <p>以上のような現状を踏まえ、できるだけ早期に、給食調理のあらゆる工程において起こりうるすべての危険性を予測し、その危険を防止する観点からの施設整備を行い、人的ミスが重大事故につながる可能性を限りなくゼロにする必要があると判断いたしております。そのような施設整備を自校方式で行うには、現在の給食調理施設の2倍程度の面積が必要となり、児童の日常生活に支障をきたすことなく面積を確保することができないため、給食センター建設が最適との結論に至りました。</p>
2	<p>学校給食衛生管理基準に沿った施設をつくるには、現状施設の2倍程度の面積が必要になります。と言う事は、2倍の広さの給食室が必要と言う事ですか？それとも工事期間の間が、2倍必要と言う事ですか？</p>	<p>学校給食衛生管理基準に沿うためには、汚染作業（生魚や生肉、泥のついた野菜等の取扱い、使用済み食器の洗浄など）・非汚染作業（加熱調理、配食など）を完全に区分するため、多くの部屋を整備することになります。自校方式で整備を行う場合、現状の2倍程度の広さの給食室を整備することとなります。工事期間中は、工事車両の駐車スペース等さらに多くの敷地を占有することになります。</p>

3	<p>学校給食衛生管理基準に沿った施設をつくるは空調設備、室温管理だけですか？</p>	<p>調理室内の温度・湿度の適正管理以外に、汚染作業区域・非汚染作業区域の区分、手洗設備の温水化、トイレ個室への手洗設備設置等が最低限必要となります。さらに、あらゆる危険性を排除するために、エアシャワーの設置や原材料用・調理用それぞれの冷蔵庫類の設置、真空冷却機の導入なども検討します。</p> <p>※参考資料：学校給食衛生管理基準（リンク）</p>
4	<p>鳥栖保健福祉事務所の期限についての返答がないという事は、期限は切られていない。ということでしょうか。</p>	<p>保健福祉事務所の指導に期限は求められていません。しかし、学校給食の安全を確保するため、「学校給食法」「学校給食衛生管理基準」を遵守することが大事だと考え、できるだけ早期に改善を図ることが行政の責務と認識しています。</p>
5	<p>期限は切られていない。もしくは土地が2倍の広さが必要なのが工事期間の間だけであれば、数校ずつ数年サイクルで設備工事をする事を提案致します。建て替え中の敷地不足分は、現在田代小学校と弥生が丘小学校でしているように、親子方式を採用して建設すれば良いと思います</p>	<p>"自校方式での学校給食衛生管理基準を満たす施設整備となると学校敷地内に半永久的に現在の 2 倍程度の面積を要することになります。それにより、児童教職員の緊急時の避難経路を遮断したり、動線が悪くなるなど、児童の学校生活への悪影響が懸念されますので、給食センター化を判断いたしました。弥生が丘小学校につきましても、児童数の増加に伴い普通教室棟の増築工事を行うことになっており、給食調理施設を建設できるスペースはありません。</p>
6	<p>自校方式の改修を、追及すべき……地域住民の意見をよく聞いてすすめる。3.11 以来、学校は地域の避難所になることも重視すべき。</p> <p>①まずは、弥生が丘小に、給食室建設。 ②順次、土地の確保できるところから、改修。 ③耐用年数のあるところ</p>	<p>計画の策定にあたっては、給食現場に関わる方々の意見を聴取し、PTA 役員会での説明を行いました。また、鳥栖市パブリックコメント実施要綱に則り、計画案をホームページ等で公表し、市報等で計画案に対するご意見等を募集しました。</p>
7	<p>給食センター建設の結論を急ぐ前に、自校方式・センター化のメリット、デメリットを多くを巻き込んで論議をなされなければならないと思います。</p>	<p>大規模災害発生時に小中学校体育館等が避難場所になった場合の対応につきましては、上下水道や電気などの機能が停止した場合でも食料などの提供を可能にするため、民間企業と提携し、物資の供給を確保しております。</p>

8	<p>誇りを持って仕事されている、学校関係者・職員・栄養士・そして学校保健員等に育てられている、佐賀県一番の幸せな子供達。それを支えている地元の農家。一度失ってからでは、これまでの様な給食をこれから何十年も子供たちに食べてもらえない。お金には変えれない貴重なものを失って何をしようとしているのですか。</p>	<p>"自校方式での学校給食衛生管理基準を満たす施設整備となると学校敷地内に現在の 2 倍程度の面積を要することになります。それにより、児童教職員の緊急時の避難経路を遮断したり、動線が悪くなるなど、児童の学校生活への悪影響が懸念されますので、給食センター化を判断いたしました。</p> <p>給食調理施設がセンター方式に変わっても、学校長や学校栄養職員、学校保健員を始めとする学校関係者が連携し、地元生産者や納入業者の方々の協力を得ながら愛情をもって子どもたちのために給食づくりをしていくことに変わりはございません。引き続き、子どもたちが学校給食をとおして正しい食習慣を身につけ、心身ともに健康に育ち、笑顔で暮らせるよう取り組んでまいります。</p>
9	<p>給食は午前授業中、給食室から立ちこめてくる給食の匂いでお昼を待ち、作ってくれた給食のおばさん達に手渡され、感謝しながら食するものだと思っています。栄養士の食に対する思い、子供達に対する愛情は「子供達のおいしい！」の声を励みに、給食の献立に反映され食育として育まれるものと思っています</p>	<p>学校敷地内から給食調理施設はなくなりますが、センター内に見学施設や食育研修室を設置し、子どもたちに給食・食育の大切さをより身近に感じてもらえるようにしたいと考えています。</p> <p>現在の給食調理施設は施設の安全衛生上課題があるため、できるだけ早期に危険性をゼロに近づけることが、子どもたちのためと考えています。自校方式での整備は、敷地確保の点で困難でありますので、「学校給食法」、「学校給食衛生管理基準」を遵守した給食センターを建設するものです。繰り返しになりますが、学校敷地の制約上、現在の給食室の改修による対応が困難なことが、給食センター化の結論に至った最大の理由でございます。</p>
10	<p>地元の人・調理員の子供達への愛情。それに近い形の給食が、自校式にあると思います。そこには実際給食を作り、「おいしい笑顔」を見た事の無い人が、頭の中だけで描いた理想の給食。とは程遠い手作りの給食があります</p> <p>鳥栖市の子供達は、今その恵まれた小学校給食環境で育っています。</p> <p>それを経済性と鳥栖保健福祉事務所から指摘を受けたとの理由でセンター化を進めています。それ以前に今ある施設で何が出来るか、何が出来ないか。それならどうすればよいか。との議論の経過は全く記載されていない。初めから、センターありきで進められている。また、どの様な給食センターなのかも示されていません。</p>	<p>学校敷地内から給食調理施設はなくなりますが、センター内に見学施設や食育研修室を設置し、子どもたちに給食・食育の大切さをより身近に感じてもらえるようにしたいと考えています。</p> <p>現在の給食調理施設は施設の安全衛生上課題があるため、できるだけ早期に危険性をゼロに近づけることが、子どもたちのためと考えています。自校方式での整備は、敷地確保の点で困難でありますので、「学校給食法」、「学校給食衛生管理基準」を遵守した給食センターを建設するものです。繰り返しになりますが、学校敷地の制約上、現在の給食室の改修による対応が困難なことが、給食センター化の結論に至った最大の理由でございます。</p>
11	<p>給食センター化をまったく知らされていない、選択権の無い子供たちは、この決定を喜んで受け入れてくれるでしょうか。鳥栖の子供達の「おいしい笑顔」を毎日作ってくれる栄養士や、給食を給食調理委員に見てもらいたいと心から願います。</p>	

12	<p>保護者からの給食費で、いかに質の高いものを提供するか、学校栄養士や調理員さんだけでなく、地域の野菜生産者・搬入業者の方々の知恵と工夫がありました。センター化は、そういった工夫を閉ざすものです。こどもの教育・食育を、単にコスト計算でみるのは、間違っています。未来を担う子供たちが大事にされてこそ、くらしや教育に十分お金をかけてこそ、鳥栖市の住みたい度もアップします。</p> <p>鳥栖市の一納税者として、給食センター化に税金を使うことに、反対します。</p>	
13	<p>衛生的にどこがいけないのか、まず現場に向き、それぞれの現場の調理員さんたちの声を聞いて下さい。</p> <p>子ども達の中に入り、どんな給食が食べたいのか、衛養士さんからの報告でなく子ども達の声聞いてみて下さい。</p> <p>そして本当にセンターに移行することが望ましいのか、改修ができることなのか、もっと前にまずすることが無いのか考えてから、箱物は具体的なポイント「基本理念にかかげてあること全て」をどうすればクリアできるのかその結論が出てからでも遅くはないと思います。</p> <p>まずセンターありきでなく 誰の為のセンター移行なのか どんな給食を子ども達に食べさせたいのか 市民全体で考える、そんな“第二稿への意見書”であることを切望します。</p>	

14	<p>なぜ鳥栖市が進めている学校給食行政に不信感があるのか？</p> <p>今供給している中学校給食の理念と同じ基本理念「生きた教材」をかかげセンター化を進めようとしているからです。</p> <p>小学校の給食が、安全を保てないから。という理由で、自校方式の給食を止めようとしている。今提供している中学校の給食と比べてみてください。</p> <p>委託で提供されている鳥栖の中学校の給食。企業が給食を提供する。と言う事は、企業は利潤を追求するものであり、学校教育上から適さないのではないかと思います。</p>	<p>"新施設の運営を民間委託にするということは今回の基本理念・基本計画には入っておりませんし、現段階で予定もしておりません。</p> <p>また、現在の中学校給食は校外調理委託方式で実施しておりますが、献立原案作成や食材の発注は市教育委員会で行い、調理方法の指示等も行っています。また、委託業者選定の際には、施設設備が学校給食衛生管理基準を満たし、安全かつ安定的に給食を提供できることを条件としました。業者に全て任せきりにするのではなく、教育委員会が関わることで、栄養バランスがとれ、食育の生きた教材となる給食提供を実現しています。</p>
15	<p>各県・各市町村いろんな地区で、センター給食は実施されています。しかし、今実施されている鳥栖市の中学校の給食を何の検証もされず、疑いもなく子供たちに提供している、今の鳥栖市行政からは、子供達に安心安全な給食を提供されるとは、どうしても信じることはできません。</p> <p>どの様なセンターを作るのですか？直営の給食センターですか？</p>	

16	<p>センター化の説明は、不十分。説明を聞いたのは一握りのPTA役員のみで、一般の保護者は知らない。もちろん市民も知らない。市報にも「センター」の一言もない。パブリックコメント以前の問題である。</p> <p>①センター化のデメリットも含め、きちんと伝える。</p> <p>②自校方式改修予算とセンター化予算を明らかにする。特にセンター方式は、土地代、建設費、設備費などの始動のほか、運送にかかわる予算、各学校のパントリー改修予算なども明示する。</p> <p>③p.34の「関係者の声をよく聞き」とあるが、関係者とは誰か。作業動線など、センターで働く人の意見集約みたい。保護者・学校教職員・学校栄養士・学校保員・地域の生産者・JA・食品業者など、学校給食に係るすべての人の意見を聞く。</p>	<p>"鳥栖市パブリックコメント実施要綱に則り、計画案をホームページ等で公表し、市報等で計画案に対するご意見等を募集しました。</p> <p>自校方式での学校給食衛生管理基準を満たす施設整備となると学校敷地内に現在の2倍程度の面積を要することになります。それにより、児童教職員の緊急時の避難経路を遮断したり、動線が悪くなるなど、児童の学校生活への悪影響が懸念されますので、給食センター化を判断いたしました。物理的な理由から判断いたしましたので、建設費用についての詳細な試算は現在のところ行っておりませんが、学校敷地の制約のほか、施設整備後の運営の効率性も含め、自校方式での整備はコスト高になると判断しております。施設整備の方針決定後、具体的な設計や試算に入る予定です。</p> <p>P34の「関係者」につきましては、具体的な給食センターの仕様・設計、運用まで含めた給食センターのあり方について検討を行っていく協議段階となりますので、学校長、栄養教諭、学校栄養職員、学校保健員、生産者、納入業者、専門家等を含め、学校給食に関わる方の意見を聞きながら進めたいと考えています。</p>
17	<p>土地購入費、給食センター建設費、プラットフォーム建設費、食缶置き場建設費、運搬経費を含めた総額と、現在の小学校給食施設の改修費用の比較を提示してください。それから議会・市民に判断を仰ぐべきです。</p> <p>市が全く試算していないとは思えません。建設決定後に、膨大な建設費用を示されても市民は、判断し意見を言うすべを持ちません。</p> <p>市民に対して、後出しじゃんけんをするようなやり方は、子どもの命に対して不誠実です。堂々と自信を持って提示してください。</p>	
18	<p>私の質問・意見は、どのような形で反映されますか。また、パブリックコメント以外の声も、活かされますか。</p>	<p>この度は貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。パブリックコメントでいただいたご意見等を十分に考慮して、鳥栖市学校給食基本理念・基本計画の最終稿として決定いたします。今後も多くの関係者の方々からの意見を聞きながら進めてまいります。</p>